

平成26年度 天白区区政運営方針 取組実績

平成26年度天白区区政運営方針に掲げた事業・取り組みについて、その達成状況を4段階で評価しました。平成27年度の事業・取り組みにこの結果を活かし、区民の皆さまとともに、ぬくもりとやすらぎ、そして魅力に満ちた、誰からも愛されるまちをめざして努力します。

◇達成状況

めざすまちの姿	A	B	C	D	計
1 安心して暮らせるまち	5	0	0	0	5
2 すこやかにいきいきと暮らせるまち	11	3	0	0	14
3 魅力に満ちた愛着のもてるまち	11	5	1	0	17
合 計	27	8	1	0	36

□■評価基準■□

- A・・・目標（計画）達成率100%
- B・・・目標（計画）達成率80%以上
- C・・・目標（計画）達成率50%以上
- D・・・目標（計画）達成率50%未満

区政運営方針に対するご意見・ご提案をお寄せください。今後の区政運営に活かしてまいります。

天白区役所企画経理室（区役所3階35番窓口）

〒468-8510 名古屋市天白区島田二丁目201番地 電話：052-807-3953 FAX：052-801-0826

メールアドレス：a8073951@tempaku.city.nagoya.lg.jp <http://www.city.nagoya.jp/tempaku/>

めざすまちの姿 ①安心して暮らせるまち

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
1 地域防災力の強化（総務課・消防署・生涯学習センター）	評価A
◇各学区における災害対策の支援 ◇避難所リーダー養成講座の開催 ◇総合水防訓練及び総合防災訓練の実施 ◇自助力向上の促進 ◇地域防災力にかかわる主催講座の開催 【目標】 「避難所運営マニュアル」を活用した避難所開設・運営訓練を7学区以上で実施します。	・避難所リーダー修了生等の企画・運営による避難所開設訓練が11学区で実施されました。 ・避難所リーダー養成講座を2回開催し、避難所開設・運営訓練事例の発表、被災地から学んだ避難所での健康管理講習などを実施しました。計97人が参加され、アンケートでは約8割の方から「全体を通して避難所リーダー養成講座は有意義であった」との回答を得ました。 ・総合水防訓練の参加者416人、総合防災訓練の参加者859人で、避難所リーダー修了生等の企画・運営による訓練も取り入れて実施しました。 ・地域防災力に関わる主催講座「いざという時、どうする？」を10月16日～12月11日に5回連続開催し、13人が参加しました。
2 災害対策区本部の強化（総務課）	評価A
◇職員防災研修の実施 ◇区内公所防災担当者との連携強化 【目標】 災害時における区災害対策本部職員の対応能力の強化を図ります。	・区役所職員を対象に避難所シミュレーション研修を4回実施し、延べ98人が参加しました。避難所運営マニュアルの講習会、避難所での実地研修、避難所運営ゲーム（HUG）やグループワークを通じて、災害発生時の対応能力の向上を図りました。 ・区内の防災関係公所（署）の担当者が集まり、災害時の連携や土砂災害危険箇所の点検、訓練の実施などについて協議しました。
3 地域の自主防犯活動の推進（まちづくり推進室）	評価A
◇街頭犯罪発生情勢に応じた防犯対策の実施 ◇区民大会の開催 【目標】 街頭犯罪（重点罪種）発生数の前年比減をめざします。（平成25年1,111件）	・平成26年中の街頭犯罪（重点罪種）発生件数は、797件と、前年に比べて315件（28.3%）減少しました。 ・犯罪抑止対策（区版）による防犯対策を学区協力のもと18回実施しました。 ・住宅対象侵入盗防止キャンペーンを植田東、植田学区協力のもと各2回ずつ計79人の参加で実施しました。 ・危険ドラッグ撲滅キャンペーン、ひったくり防止キャンペーンなどを原駅などで4回90人の参加で実施しました。 ・特殊詐欺に対する啓発を警察と協働し金融機関に対して実施しました。（発生件数11件（前年比1件減）、被害額3,462万円（前年比18%増）） ・名古屋市街頭犯罪抑止環境整備事業補助金を活用し、防犯灯のLED化（区内23団体、計130灯）や防犯カメラの設置（区内2団体、計11台）が実施されました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 交通安全啓発活動の推進（まちづくり推進室）	評価A
◇ゼロの日等の交通安全街頭指導・広報活動 ◇交通安全ヒヤリ地図の活用 ◇区民大会の開催 ◇高齢者等に対する交通安全啓発 ◇青少年に対する自転車利用マナーの向上呼び掛け 【目標】 天白区内の人身事故発生件数について対前年比減少をめざします。（平成25年 828件）	・平成26年中の人身事故発生件数は816件と平成25年中の828件と比べて12件減少しました。 ・5、11月の自転車安全利用促進期間中、区内7地下鉄駅において、7学区から160人の参加を得て適正利用キャンペーンを実施しました。 ・平成26年10月1日天白文化小劇場で天白警察署と協働で危険ドラッグ撲滅シンポジウムを開催、危険ドラッグ撲滅タウン宣言を実施しました。（参加者320人） ・平成26年12月20日 区役所講堂で区民大会を開催しました。（参加者300人） ・5学区のふれあい給食に出向き、高齢者約200人に対して交通安全啓発を実施しました。 ・5月、11月に青少年に対する自転車利用適正キャンペーンを実施しました。（各月7駅、9学区、延130人参加） ・天白警察署と協働し、天白学区の交通安全ヒヤリ地図の見直しを行い、学区に情報をフィードバックし共有を図りました。 ・原則毎月0の日に11か所の交差点で区幹部職員が学区等と協働し街頭指導を実施しました。また実施日に合わせた区公用車による巡回広報を実施しました。
5 食の安全・安心（生活環境課）	評価A
◇区民や食品関係業者への食品関連情報の提供 ◇消費者や事業者との情報・意見交換会の開催 ◇食品関連施設に対する監視指導の実施 【目標】 区内で食中毒事件を発生させません。	・年間を通して食品関連施設に対する監視指導や業者・市民等に対する各種衛生講習会の開催により食の安全・安心の確保に努めました。 ・食品関連施設への監視指導を3,592件実施しました。 ・事業者や市民に対する食品衛生講習会等を14回、延べ485人に対して実施しました。 ・7月に区内のスーパーにおいて肉の生食等による食中毒防止キャンペーンを実施し、延べ200人に対して周知を行いました。 ・8月に区内のスーパーにおいて食品衛生相談所を開き、延べ400人に対して相談・啓発を行いました。 ・天白区内における食中毒事件の発生はありませんでした。

めざすまちの姿 ②すこやかにいきいきと暮らせるまち

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
1 すくすく訪問（赤ちゃん訪問）・すくすくサロン（子育てサロン）の実施（民生子ども課・保健予防課）	評価B
◇すくすく訪問（赤ちゃん訪問）の実施 ◇すくすくサロン（子育てサロン）の実施 【目標】 すくすく訪問（赤ちゃん訪問）を100%実施します。	・地域の主任児童委員等が区内の第一子誕生のご家庭を概ね3ヶ月後に訪問（760世帯）し、子育て情報冊子の配布や、すくすくサロンの情報提供等を行い子育ての支援をしました。また、区内に転入された第一子誕生のご家庭にも、転入後、できるだけ速やかな訪問に努めています。 ・里帰りなどで不在のため、直接お会いできたのは約94.4%でした。 ・主任児童委員や児童委員が中心となり、概ね0歳から3歳までの乳幼児を持つ親子の身近な地域での子育て仲間づくりの場となるように、手遊びや保健師の育児相談など、工夫をこらし、全学区で開催しました。
2 関係機関の連携による子育て支援（民生子ども課・社会福祉協議会）	評価A
◇天白区子ども・子育てお役立ち便利帳改訂版の発行 ◇第8回子育て支援者ステップアップ講座の開催 ◇天白おやこ子育て広場を通じた交流の場づくり ◇子育て支援における幼稚園との連携 【目標】 子ども・子育てお役立ち便利帳の、保育所と幼稚園に関する情報を充実します。	・「天白区子ども・子育てお役立ち便利帳」の改訂版を作成し、3月下旬から配布を開始しました。保育所と幼稚園に関する情報を充実させるとともに、作成部数を昨年度よりも1,000部増やし、2,800部としました。すくすく訪問（赤ちゃん訪問）の際や、各種講座等で、子育て世帯の方に配布します。 ・1月に子育て支援者交流会を実施しました。地域で子どもに関係する活動をしている各種団体や支援者の方が、40人参加しました。参加者同士のグループワークを中心にし、積極的に交流・意見交換をするなかで、子育て支援活動において大切なことをチェックリストにまとめました。そのチェックリストをチェックしていきながら、今後の活動で必要なことを、自ら気づけるよう工夫をしました。 ・天白おやこ子育て広場を2回実施し、子育て中の親子が、地域で仲間づくりができる交流の場づくりを行いました。
3 児童虐待の防止（民生子ども課・保健予防課）	評価A
◇子育てに悩む親向け講座の充実 ◇子育て講演会の開催 ◇子育て支援者向け講座の開催（再掲） 【目標】 児童虐待による重大な被害の根絶をめざします。	・5月と11月の児童虐待防止推進月間（オレンジリボンキャンペーン）にあわせ、子育てに悩む親向けの講座を2回開催しました（ノーバディーズ・パーフェクト講座：5月・7回コース…12人参加、スター・ペアレンティング講座：11月・4回コース…18人参加）。 ・11月9日、「乳幼児期の学び～乳幼児期に身につけたい学びに向かう力～」をテーマに実施しました（参加者：約100人）。日曜日に開催することで、母親だけでなく、父親にも参加していただくことができました。講演の内容としては、質の高い幼児教育とはどういったものなのかについて、年齢ごとに事例を通してわかりやすく学ぶことができるものとなりました。 以上の取り組みにより、子育て中の保護者の不安をやわらげ、児童虐待による重大な被害の発生を防ぐことができました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 民生委員・児童委員活動の支援の強化（民生子ども課・福祉課・保険年金課・社会福祉協議会）	評価A
◇民生委員・児童委員活動の支援の強化 【目標】 地域福祉の担い手である民生委員・児童委員が、要援護者等に対して福祉サービスに適切につなげられるように支援します。	・17学区の民生委員児童委員協議会を年3回(4月・9月・1月)訪問し、福祉制度の基本的な事項をテーマとして情報提供を行い、活動の支援をしました。 ・民児協会長連絡会の中で、身近な話題から「地域包括ケア」など大きなテーマで情報交換を行いました。
5 親と子のすくすく・のびのび育ちへの支援（保健予防課）	評価A
◇妊娠期からの子育て支援講座の開催 ◇妊産婦および乳幼児への食育支援の推進 ◇歯と口の1日健康センターの開催 【目標】 父親向けの子育て支援講演会の参加カップル20組をめざします。	・父親向けの支援講演会は21組予約され20組の参加があり目標を達成しました。 ・ニューファミリーセミナーの講義内容に、沐浴・妊婦体験を取り入れ充実させた結果、参加者数は増加しました。 ・離乳食教室、離乳食相談日、幼児食講習会、妊婦への食育支援には、昨年度と同程度の延べ383人の市民が参加しました。 ・歯と口の1日健康センターには、25年度よりも53人増の354人の市民が参加しました。
6 青少年健全育成事業の推進（まちづくり推進室）	評価B
◇青少年育成区民大会の開催 ◇青少年すこやかポスター・標語の募集、展示 ◇天白川緑地を走る会の開催 ◇青少年健全育成キャンペーンの実施(新規) 【目標】 青少年すこやかポスター・標語の出品数の前年比1割増をめざします。(平成25年 135点)	・青少年すこやかポスター・標語を募集し、区役所ロビー、生涯学習センター及び文化小劇場において作品を展示しました。今年度の応募総数は145点(前年度135点)で、応募総数約7%増にとどまり、1割増の目標を達成できませんでした。 ・2月26日、青少年育成区民大会において、2学区の特色ある青少年健全育成活動の報告を行い、また、なごや子ども応援委員会職員による講演会(『子どもを地域から孤立させないために』)を開催しました。(参加者数250人) ・11月23日、天白川緑地を走る会を開催し、574人の参加がありました。昨年同様、多数の応募がありました。 ・野並学区及び植田学区のコンビニエンスストアなどに対して、深夜に施設を利用する青少年への帰宅促し等の協力依頼を学区と連携し実施しました。
7 障害者地域自立支援活動の推進（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会）	評価A
◇障害に関連したテーマの講演会の開催 ◇授産製品(自主製品)のPR活動の推進 【目標】 講演会の入場者数250人以上をめざします。(平成25年度 211人)	・障害に関連したテーマの講演会を開催し、広く区民に障害者(児)に対する理解を深めてもらう啓発活動を行いました。入場者数は、目標250人を上回る256人でした。 ・区役所内において、授産製品(自主製品)の販売の支援を行い、その普及・販売促進のPR活動に努めました。販売日を平日毎日とし、販売実績も大幅に増加しました。また、区内の地域のイベントなどに来店して、販売機会の拡大を図りました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
8 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進（福祉課・保健予防課・いきいき支援センター）	評価A
◇認知症高齢者支援事業の実施 ◇地域包括ケア推進会議・認知症専門部会の運営 ◇介護フェスタの開催 ◇認知症予防の普及 【目標】 新規の認知症サポーターを400人以上養成します。	・認知症サポーターの養成講座を学区や公署・事業所などで実施し、認知症に対する正しい理解と知識の普及を図りました。（延29回、653人） ・はいかい高齢者おかえりサポーターの登録者数は647人でした。 ・はいかい高齢者おかえり支援事業の模擬訓練を実施し、参加した地域住民等のはいかい高齢者への理解を深めることができました。（50人） ・認知症の方も参加できる「認知症カフェ」を実施し、認知症の方を介護する家族の支援を行いました。（3回、210人） ・養成した認知症サポーターのその後のフォローアップ講座を実施し知識の向上と今後の活用について検討しました。（67人） ・介護フェスタを開催し、介護に関する情報だけでなく介護に携わる事業者等との交流を図ることができました。（3日間、延764人） ・しらさぎ大学（認知症・うつ予防教室）を実施し、元気が低下している方の介護予防につなぐことができました。（延28回、394人）
9 地域における高齢者の見守り活動の推進（福祉課・保健予防課・いきいき支援センター）	評価A
◇ホッとねっと天白（地域支援ネットワーク）の周知 ◇ひとり暮らし高齢者の孤立防止支援 ◇小地域単位での取り組み 【目標】 小地域単位の交流会を新たに2以上の小地域で実施します。	・天白区地域包括ケア推進会議（天白区地域支援ネットワーク協議会）を開催し、天白区における地域包括ケアシステムの構築について協議し広報なごや等でその内容について広報しました。 ・小地域で個別課題や地域課題の検討をおこない、地域で必要とされる課題を把握し、今後の対応策への検討につなぐことができました。（2単位→4単位に増） ・高齢者に関わる民生委員とケアマネジャーが情報を把握できるよう「つなぎシート」を作成し顔の見える関係づくりを行うことができました。 ・地域から孤立しがちなひとり暮らし高齢者に高齢者福祉相談員が訪問した際、かかりつけ医などの情報が記載できる緊急連絡用マグネットを215枚配布しました。
10 高齢者の生きがいづくりと介護予防事業の推進（福祉課・保健予防課・いきいき支援センター・社会福祉協議会）	評価A
◇高齢者の生きがいづくり ◇介護予防事業の総合的推進 【目標】 老人クラブを増やします。（平成25年度 57単位クラブ）	・健康寿命を延伸するため高齢者の介護予防や生きがいづくり事業を実施しました。 【保健所】・いきいき教室（60回、延1,607人）・地域住民活動支援事業（150回、延2,913人） 【社会福祉協議会】・高齢者はつらつ長寿推進事業（345回、延6,600人） 【いきいき支援センター】・得トク運動教室 150人・食生活充実事業 24人・お口の機能向上事業 114人 【福祉会館】・わくわく通所事業 41人 ・地域包括ケアシステムを支える福祉の担い手として高齢者の活用が期待されており、元気な高齢者には地域活動への参加を、閉じこもり気味な方には外出機会のきっかけを促すための介護予防資源マップ『「行きたい」から「行こう！」へ 発見！天白お楽しみマップ』を作成しました。 ・高齢者の生きがいづくりの一環として区民まつりや介護フェスタで老人クラブ数の増加を図るため会員募集を行うほか、福祉課内の掲示板で老人クラブなどの高齢者の福祉情報を広報し、クラブ数の増加を図りました。（25年度：57クラブ2,717人→58クラブ2,749人）

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
11 第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の周知徹底及び確実な推進（社会福祉協議会）	評価B
◇関係機関・団体等への計画説明会の開催 ◇地域福祉課題を把握する機能と解決のしくみづくり ◇ネットワークづくり ◇福祉環境づくり 【目標】 第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の説明会を全学区で開催し、周知徹底を図るとともに計画を確実に推進します。	・地域福祉活動計画推進の1年目として、26年度の前半は地域住民や関係機関・団体の会議等に出向き全学区で説明会を行いました。（30回開催、約400人） ・民児協アンケートでは69人の民生児童委員の協力を得ることができ、今後の取り組みの参考となりました。 ・育み部会において検討してきたキャラクターのデザインが完成し、理事会等で披露しました。（名前の決定は27年度）
12 精神障害者の地域生活支援者育成事業（保健予防課）	評価A
◇精神障がい者の地域生活支援者への講習会の実施 【目標】 参加事業所数10か所以上と、参加者満足度8割以上をめざします。	講演会と見学会合わせて、延べ15事業所が参加し、精神疾患や精神障害者についての知識と理解を深めることができました。講演会アンケート「講演会はわかりやすかったですか」の質問に「わかりやすい」に80%以上が回答。続いて「まあまあわかりやすい」に回答されました。さらに見学会のアンケート「精神科病院の印象は変わりましたか」の質問に85%以上が「はい」と回答し、「明るくてきれいな病院でした」「病棟、病室が広く、清潔感があった」という感想がありました。
13 地域ふれあい健康づくり活動（保健予防課）	評価A
◇ふれあい健康相談会の開催 ◇区民健康づくりセミナーの開催 【目標】 ふれあい健康相談会の参加・相談数延べ200人をめざします。	・ふれあい健康相談会を区民まつり、スポーツセンター、福祉会館、平針南コミュニティセンターにて実施しました。区民まつりでの測定者、相談者等は延べ472人の参加がありました。子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方とふれあうことができ、大盛況となりました。また、スポーツセンター、福祉会館、平針南コミュニティセンターの3か所で健康相談会を実施し、それぞれ61人、31人、35人の参加者でした。合計参加者は599人で、昨年度を約8割上回る結果となりました。 ・区民健康づくりセミナーでは「笑門来福」「血液のがんについて」「家族ががんになったとき」の3つの講演を実施し、参加者202人で、昨年度を約1割上回る結果となりました。アンケートの結果では、大変満足、まあまあ良かったと回答した方が9割を占め、概ね好評でした。
14 生涯学習の振興（生涯学習センター）	評価A
◇テンパク・テニユア（天白終身講師）の活躍の場の拡大 ◇天白の特色を生かした魅力ある講座・事業の実施 ◇自主グループ活動への支援 ◇天白お楽しみサロンの開催 【目標】 テンパク・テニユアの講座・講演を12回以上開催します。（平成25年度 10回）	・テンパク・テニユア（天白終身講師）の講座・講演を13回開催し、524人が参加しました。 ・天白の特色を生かした魅力ある講座・事業を前期4講座・後期2講座開催し、71人が参加しました。 ・グループ自主講座を14開設し、センターまつりを10月に開催（1,020人）し、レクリエーションバレーボール交流会（48チーム）・卓球グループ交流会（70人）・バドミントングループ交流会（51人）を開催しました。 ・天白お楽しみサロンを8回開催し、452人が参加しました。

めざすまちの姿 ③魅力に満ちた愛着のもてるまち

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
1 町を美しくする運動の推進（まちづくり推進室・保健所）	評価A
◇「天白区クリーンキャンペーン」の開催（再掲） ◇空地をきれいにする運動 ◇40周年花いっぱい運動 【目標】 17学区で「学区の花」を決めて植えます。	・5月から6月にかけて、17学区で地域一斉清掃を実施しました。（参加者総数4,575人） ・6月7日「天白区クリーンキャンペーン」を平針南学区で開催し、学区民350人、学生ボランティア4大学から68人、3事業所から89人の507人が参加しました。平針南学区代表者による「環境宣言」を実施しました。 ・7月から11月にかけて、「空地をきれいにする運動」として全学区に照会を実施し、11学区から132件の回答があり、雑草の繁茂等、管理が不適切な空地について調査及び除草依頼（73件）を実施しました。 ・全17学区で「学区の花」を選定していただくことができ、全学区にその花の苗（木）、種子等を配布することができました。
2 ペットの飼主のマナー向上啓発事業（生活環境課）	評価A
◇ペットのマナー良し隊の実施 ◇広報媒体を活用した啓発 ◇なごやかキャットサポート事業の推進 【目標】 「ペットのマナー良し隊」を3学区以上で実施します。（平成25年度2学区）	・ペットのマナー良し隊（巡回指導）を10月に3学区4カ所で開催し、犬のフンの放置防止等適正飼養の啓発活動を行いました。 ・広報なごや区版「保健所だより」で犬の飼い方に関する記事を載せました（4月号、7月号）。 ・保健所のホームページでペットの飼い方のマナーについて周知を図りました。 ・なごやかキャットサポーター事業の説明会を3地域で実施しました。 ・なごやかキャットサポーターが2人増えて6人となりました。 ・猫の避妊去勢手術補助券を103枚交付しました。
3 身近な自然に親しむ取組み（まちづくり推進室・生涯学習センター）	評価A
◇「天白・もりのフォーラム」との協働事業 【目標】 自然をフィールドとした事業への参加者延べ300人をめざします。（平成25年度 延べ272人）	・年間を通じて合計11回の自然観察会（雨天により1回中止）を実施し、目標の300人に対し、342人に参加いただきました。参加者アンケートのうち、「よかった」と回答した方の割合は100%でした。 また、荒池緑地の自然ガイドマップを2,000部作成しました。イベント等を通じ、今後の広報に役立てます。 ・もりのフォーラム出前授業として、教員向けに1月に島田湿地の会が授業を実施しました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
4 地産地消の推進（総務課（農政））	評価B
◇区内朝市・直売所を巡る「地産地消スタンプラリー」の実施 ◇チラシ「すくすく天白」の発行 ◇子どもたちの農業体験等への支援 ◇区役所敷地内での地元農産物の栽培、展示 【目標】 地産地消スタンプラリーの応募者数を250人以上をめざします。（平成25年度 220人）	・「地産地消スタンプラリー」を実施して、地産地消の推進に努めました。応募者数は242人に達し、昨年度を約1割上回る結果となりました。 ・農に関する事業を掲載したチラシを発行して、区民への情報発信に努めました。（年1回発行） ・地元農家2人の方の協力のもと、子ども達の農業体験等を実施しました。（1校） ・春から夏にかけて「くりあじかぼちゃ」を、秋からは「八事五寸にんじん」を栽培し、成長の過程を来庁者にご覧いただき、収穫物を市及び区品評会に参考出展しました。
5 「農」のある暮らしの推進（総務課（農政））	評価C
◇農産物品評会・農業まつりの実施 ◇区民農園の推進 【目標】 農産物品評会・農業まつりの来場者数を1,500人以上をめざします。（平成25年度 1,500人）	・「農産物品評会」では、区内在住農家の優秀な農産物を顕彰することによって農家の生産意欲の向上を図り、同時開催した「農業まつり」では、新鮮朝市によって区民に天白の農の豊かさをお楽しみいただきました。衆議院議員選挙の開催のため、会場を急遽変更したことが影響し、来場者数は約900人でした。 ・区民農園（農家開設型市民農園及び農業体験農園）の開設数は変化ありませんでしたが、窓口での相談やチラシ配架等により、引き続き農園開設に向けて取り組んでいきます。
6 環境デーなごや2014の実施（まちづくり推進室・南東部公害対策担当・環境事業所）	評価A
◇「天白区クリーンキャンペーン」の開催 ◇地域環境イベントの実施 ◇環境デー区民まつり編の実施 【目標】 天白区クリーンキャンペーンへの参加者増加をめざします。（平成25年度 天白学区459人）	・6月7日（土）に開催した天白区クリーンキャンペーンにおいて、平針南学区をメイン会場に、学区民350人、学生ボランティア4大学68人、3事業所89人の507人の参加を得て実施し、地域の方に町美や環境問題に対する意識啓発を行いました。 ・「緑のカーテンづくり講習会&ゴーヤ料理セミナー」と生ごみのたい肥化のぼかし作り教室を開催しました。76人の方にご参加いただき、大変好評をいただきました。 ・6月7日に区役所講堂において、ごみ分別ゲームを開催し、230人の方が参加しました。 ・区役所講堂にて女性会主催の環境バザーを実施しました。（参加者約300人） ・「リモネンで手形づくり」及び「アルミ缶で小物入れづくり」（リサイクル工作教室）を開催し、264人の方が参加しました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
7 地域に密着した環境教育（南東部公害対策担当）	評価A
◇緑のカーテン普及啓発活動 ◇水辺の生き物観察教室の開催 【目標】 緑のカーテンの関心度85%以上をめざします。（平成25年度 82%）	・「緑のカーテン講習会」、「緑のカーテンづくり講習会 & ゴーヤ料理セミナー」を実施し、緑のカーテンづくりの啓発を76人の参加者に行いました。 ・8月3日に天白川で「水辺の生き物観察教室」を開催し、水辺環境の保護・保全の重要性について啓発を行いました。子供から大人まで150人の方に参加していただき、大変好評でした。 ・緑のカーテンの関心度は97%でした。
8 天白の歴史・文化の魅力発信(企画経理室・まちづくり推進室)	評価B
◇天白区にまつわる写真の収集・展示 ◇区内の歴史や伝統文化等の調査・発信 ◇「天白ガイドボランティア歴遊会」との協働事業 ◇「ふれあい協定」に基づく長野県中川村との交流 【目標】 写真展の開催や、民俗芸能に関する常設の展示コーナーの設置により、区民が天白の歴史・文化に触れる機会を増やします。	・「天白区なつかしの写真展」を展示スペースで4、5月に開催しました。 ・2月8日～22日に講堂にて、区制40周年記念事業として200点の写真パネルを用いた写真展「むかし、いま、天白」を「昭和時代展」・「巡回水道歴史写真展」と同時開催し、延べ1,700人の来場者で賑わいました。 ・写真展で使用した写真パネルの一部を、地域のイベント等で利用できるよう、貸し出しを行いました。 ・区民まつりに木遣り音頭保存会・八事の蝶々保存会に参加いただき、PRに努めました。 ・史跡散策会及び依頼に応じた歴史ガイドを歴遊会の主催・運営協力により年間5回実施し、85人に参加いただきました。また、スマートフォンアプリ「名古屋歴史スマートナビ」を活用し、「天道・塩釜と坂道コース」をコース登録しました。 ・天白区とふれあい協定を結んでいる長野県中川村とは、中川村との交流事業部会の協力により、子ども会によるトウモロコシ収穫体験による人的交流、リンゴの木のオーナーの募集などの農作物を通じた交流、男女レクバレーによるスポーツ交流など、年間を通じて交流事業を実施しました。 ・「なつかしの写真展」や区制40周年記念写真展等を開催し、また写真展にて民俗芸能のコーナーを設置し、多くの区民が天白の歴史・文化に触れることができました。
9 区民まつり（まつり天白2014）の開催(まちづくり推進室)	評価B
◇まつり天白2014の開催 【目標】 アンケートで「区民まつりが良かった」と回答した方の割合100%をめざします。（平成25年度 97.2%）	・10月26日に区民まつりを開催し、4万人の方に来場いただきました(平成25年度の来場者 3万8千人)。出店(展)数は89ブース、運営ボランティアは200人でした。 平成27年2月に天白区制40周年を迎えることから、40周年を記念して作成した天白区マスコットキャラクターの愛称投票やなつかしの写真展、記念コースターの制作体験を行ったほか、記念の旗を会場内に掲出しました。 また、子ども向け企画の充実として、ふわふわ遊具やミニSL、路上お絵かきコーナーを新たに会場内に設置しました。併せて、生涯学習センター内の親子向けの休憩スペースを拡充しました。 ・区民まつりの来場者アンケートでよかったと答えた人を100%にすることをめざし、95.4%でした。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
10 町内会・自治会加入促進への支援(まちづくり推進室)	評価B
◇加入促進への支援 ◇新築マンション等への加入依頼 ◇公式ウェブサイトを活用した町内会・自治会への加入受付 【目標】 町内会加入率70%以上をめざします。	・平成26年度町内会加入率は61.96%で目標達成できませんでした。 ・区役所情報コーナーに設置されたポストや、新たに開設されたウェブサイトの活用により、少数であるが若い世帯の町内会加入が促進できました。(ポスト8件、メール4件) ・今年度、新たに住宅都市局から新築共同住宅の建築情報を得て、地域と連携することにより地域の実情を知ることができ、建築完了した6町内会への情報提供を行い、6世帯の加入があったのをはじめ区役所の支援を進めることができました。 ・他区に先駆けて広報なごや3月号による広報ができました。
11 地域活動・市民活動の支援(まちづくり推進室・企画経理室)	評価A
◇地域課題やニーズを把握する手法の充実 ◇「天白区を住みよくする会」の活動支援 ◇「天白まちづくりサポータークラブ」の活動支援 ◇いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業の実施 【目標】 区役所の仕事ぶりについて「区民や地域活動の支援ができています」と感じている区民の割合を高めます。(区民アンケート結果 平成25年度 36.5%)	・地域が実施する活動(交通安全、生活安全、町美などの各種キャンペーン)に述べ53回参加し、啓発活動の支援を行いました。また今年度より、学区担当制が実施され、まちづくり推進室の職員が区内17学区の担当として、それぞれ会議(述べ45回)や夏まつり・コミセンまつり・成人式等のイベント(述べ18回)に出席しました。 また、区内の諸団体と協働し、区民まつりでの出展や各種行事を開催しました。 ・天白区を住みよくする会の活動支援では、8月1日に愛知県、8月28日に名古屋市に対し要望活動を行いました。 要望のうち、天白川河岸の工事推進とピオトープの工事完了、交差点のスクランブル化、バス停の新設などが実現しました。 ・いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業において、身近な地域課題の解決や地域の魅力向上につながる事業を募集し、2事業を支援しました。 ・区役所の仕事ぶりについて「区民や地域活動の支援ができています」と感じている区民の割合は39.9%でした。(25年度区民アンケート 36.5%)
12 文化・スポーツ活動の推進(まちづくり推進室・生涯学習センター)	評価A
◇第2回てんぱく音楽祭の開催 ◇天白区美術展・華道展の開催 ◇スポーツ大会の開催 ◇地域スポーツPRイベントの実施 ◇天白お楽しみサロンの開催(再掲) 【目標】 地域スポーツPRイベントを実施します。	・地域スポーツPRイベントとして、区内スポーツ団体の紹介パネルを設置し、レク・インディアカ体験コーナー(参加者数95人)を開催しました。 ・1月25日、区内高校生・大学生、一般の方(公募)及び天白区に縁のある音楽家の出演するてんぱく音楽祭を開催し、会場に約400人の観客が来場しました。 ・5月、10月に華道展(総来場者数550人、総出品数77杯)、11月に美術展(総来場者数577人、出品数182点)を開催し、昨年より出品数及び出品数が増加しました。 ・区内においてソフトボール、グラウンド・ゴルフ、バドミントン、卓球、レク・インディアカ、女性レク・バレー、ソフトテニス、軟式野球、剣道、男女レク・バレーなどのスポーツ大会を開催・支援しました。(総参加人数(個人)1,282人、総参加チーム数127チーム) ・天白お楽しみサロンを8回開催し、452人が参加しました。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
13 区民に信頼され、親しまれる区役所づくり（総務課・全課・企画経理室）	評価B
◇来場者の満足度の向上 ◇区政運営方針の策定と進行管理 ◇区独自財源の確保 【目標】 窓口アンケートにおける満足度の向上をめざします。 （平成25年11月実施結果 97.6%（「とても満足」「満足」の合計））	・スマイルガイド通信を年6回発行し、接遇向上に努めました。 ・各課から推薦された「窓口サービス向上リーダー・サブリーダー」を対象に、外部講師による研修を実施し、各課における課題に取り組みました。 ・来庁者の皆様からのご意見・ご提案「明日への提案箱」を、より良い区役所づくりに活かしました。（平成26年度 36件） ・お客様満足度の向上（窓口アンケート「とても満足」「満足」割合）をめざし、97.0%（平成26年11月実施）でした。 ・年間を通して、混雑時には適宜窓口を増設しました。2月下旬から3月にかけての繁忙期には、昼窓口に従事する職員の人数を増やして対応しました。3月より天白区のホームページに「市民課窓口混雑予想」を掲示するとともに、チラシや貼紙で混雑予想の案内をしました。 ・平成26年5月に区政運営方針を策定・公表しました。各事業・取組について進行管理を行い、平成26年度末に達成状況をとりまとめました。 ・自動販売機や広告付き案内地図等を設置し、広告収入等の自主財源を確保しました。
14 区民のニーズや地域課題の把握（企画経理室・総務課・まちづくり推進室）	評価A
◇区民アンケートの実施 ◇明日への提案箱（再掲） ◇地域課題やニーズを把握する手法の充実（再掲） 【目標】 区役所の仕事ぶりについて「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じている区民の割合を高めます。（区民アンケート結果 平成25年度 23.4%）	・無作為抽出による20歳以上の1,000人を対象とした区民アンケートを実施し、区民ニーズの把握に努めました。（回答率41.1%） ・来庁者の皆様からのご意見・ご提案「明日への提案箱」を、より良い区役所づくりに活かしました。（平成26年度 36件） ・地域が実施する活動（交通安全、生活安全、町美などの各種キャンペーン）に述べ53回参加し、啓発活動の支援を行いました。また今年度より、学区担当制が実施され、まちづくり推進室の職員が区内17学区の担当として、それぞれ会議（述べ45回）や夏まつり・コミセンまつり・成人式等のイベント（述べ18回）に出席しました。 ・区民アンケートで「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じる区民の割合の向上（平成25年度 23.4%）をめざし、23.6%でした。
15 区政に関する広報・情報提供手段の充実・多様化（まちづくり推進室・企画経理室）	評価A
◇広報なごや区版の発行 ◇その他メディアへの情報提供 ◇情報収集のためのボランティアの募集 ◇行政情報モニターを設置 【目標】 行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されていると答える人の割合を高めます。（区民アンケート結果 平成25年度 27.3%）	・広報なごや区版は、トップ記事の年間計画を作成し、てんぱく音楽祭の開催や防災、子育て支援、熱中症と食中毒の注意喚起など、区民のニーズや関心に沿った事項、区で特に告知が必要な事項の特集記事を掲載しました。 ・区ウェブサイトでは、行事などの時期に合わせて大きくてわかりやすいアイコンを中央に設定し、見やすいページ構成に努めました。また、区ウェブサイト内に「区長の部屋」のページを新規に立ち上げ、区長の日ごろの活動を発信しました。一方、行政情報や区内の身近な情報を発信するため、平成26年8月から天白区Facebookを開設し、81件の記事を掲載しました。 ・区役所1階及び保健所2階の各待合スペースに設置したモニターにより、イベント・講座の参加者募集や市民課における手続き等の区政情報を提供しました。 ・区民アンケートで「行政の情報が必要な人にわかりやすく提供されている」と感じる区民の割合の向上（平成25年度 27.3%）をめざし、32.6%でした。

平成26年度当初の取組計画	取り組みの成果と目標の達成状況
16 天白区への愛着心の醸成(まちづくり推進室・企画経理室)	評価A
◇天白区マスコットキャラクターの制作 ◇情報収集のためのボランティアの募集(再掲) ◇区のキャッチフレーズロゴ利用の推進 ◇職員向けの通信文書の発行 【目標】 天白区マスコットキャラクターを制作します。	・区制40周年を記念して、区のマスコットキャラクターのデザイン・愛称を公募、全国からデザイン749件、愛称1,253件の応募があり、区内中高校生による第一次審査と審査委員会による2回の審査及び愛称の投票を経て、かぼっちが誕生しました。1月25日の第2回てんぱく音楽祭にて、着ぐるみの初お披露目と愛称発表を行い、2月以降に着ぐるみの貸出を開始。2月・3月の2ヶ月間で区役所主催行事をはじめ各公所や地域行事に述べ11回参加しました。今後も天白区の魅力発信・イベントの盛り上げ役として活用していきます。 ・平成26年8月から開設した天白区Facebookでの情報発信に協力いただく「広報ボランティア」を区民から募集し、5人の登録をいただきました。 ・区のキャッチフレーズロゴや区制40周年記念ロゴを活用して、区民の方だけでなく、職員も天白区により一層の親しみや愛着を持ってもらえるように努めました。
17 区制40周年記念事業の実施(企画経理室・まちづくり推進室・総務課)	評価A
◇写真展の開催 ◇天白区マスコットキャラクターの制作(再掲) ◇感謝状贈呈式の開催 ◇てんぱく音楽祭の開催(再掲) ◇区民まつりにおける記念イベントの実施(再掲) ◇40周年花いっぱい運動の実施(再掲) 【目標】 区制40周年記念事業の写真展の来場者数延べ1,500人以上をめざします。	・2月8日～22日に講堂にて、区制40周年記念事業として200点の写真パネルを用いた写真展「むかし、いま、天白」を、懐かしい古道具をそろえた「昭和時代展」・上下水道局100周年を記念した「巡回水道歴史写真展」と同時開催し、延べ1,700人の来場者で賑わいました。 ・区制40周年を記念して、区のマスコットキャラクターのデザイン・愛称を公募、全国からデザイン749件、愛称1,253件の応募があり、区内中高校生による第一次審査と審査委員会による2回の審査及び愛称の投票を経て、かぼっちが誕生しました。1月25日の第2回てんぱく音楽祭にて、着ぐるみの初お披露目と愛称発表を行い、2月以降に着ぐるみの貸出を開始。2月・3月の2ヶ月間で区役所主催行事をはじめ各公所や地域行事に述べ11回参加しました。今後も天白区の魅力発信・イベントの盛り上げ役として活用していきます。 ・天白区制40周年記念式典を開催し、天白区の発展を長年に渡り支えてきた功労者及び功労団体に対して、行政の立場から感謝の意を示すことができました。また、区政協力委員協議会との共催で祝賀会を同時開催したことで、過去から現在までの各種団体長が交流する場を提供することができました。 ・1月25日、区内高校生・大学生、一般の方(公募)及び天白区に縁のある音楽家の出演するてんぱく音楽祭を開催し、会場に約400人の観客が来場しました。 ・区民まつりにて、40周年を記念して作成した天白区マスコットキャラクターの愛称投票やなつかしの写真展、記念コースターの制作体験を行ったほか、記念の旗を会場内に掲出しました。 ・全17学区で「学区の花」を選定していただくことができ、全学区にその花の苗(木)、種子等を配布することができました。